

報道関係各位

2023年3月22日  
株式会社アイデミー

## 経産省策定「DXリテラシー標準」の関連コースなど

### DX人材育成のための9コースを新たにリリース

— 2023年3月新規公開コンテンツ —

デジタル変革に伴走する株式会社アイデミー(本社:東京都千代田区、代表取締役執行役員 社長CEO 石川 聡彦、以下「アイデミー」)は、法人を対象としたオンラインDXラーニング「Aidemy Business(アイデミー ビジネス)」において、新規公開コンテンツとして新たに9コースの提供を2023年3月1日から随時開始しております。

2023 / 03 Content Update

## DXリテラシー標準 関連コースなど 9コースを新規公開



アイデミーは、2014年の設立以降、「先端技術を、経済実装する。」をミッションに掲げ、デジタル人材の育成を軸とした「DX推進支援事業」を展開しております。「DX推進支援事業」は、「AI/DXプロダクト」および「AI/DXソリューション」の2つのサービスから構成されており、DX/GX人材へとリスクリング(職業能力の再開発)し外的環境の変化に対応できる強い組織作りを支援する「Aidemy Business」は、「AI/DXプロダクト」の1ソリューションとして、2018年から提供を開始し、エンタープライズ企業を中心に430法人以上への導入実績があります。(2023年3月22日時点)

DX推進に向け、全社員教育に動き出す企業も増える昨今、ますますDX人材として求められる知識やスキルも多様化しています。このような動向を受け、アイデミーは、デジタルリテラシーを身に付けるために学ぶ方から、システム運用に携わる研究職の方まで、クライアントの多様なニーズに応えるべく、「Aidemy Business」の新規教材の開発と既存教材の改修を継続的に進めております。2023年3月は、経済産業省が昨年3月に策定した「DXリテラシー標準」を深く理解するための3コース、業務の自動化の取り組みをスタートさせたいビジネスパーソンに向けた「定型業務を自動化しよう！概論編 RPA入門」「定型業務を自動化しよう！実践編 Power Automate for desktop入門」、そして「DX News(2023年3月最終特別号)」などの計9コースをAidemy Business利用中もしくはDX News購読中の企業に向けて、順次提供を開始しております。

アイデミーは、引き続き「Aidemy Business」のコンテンツの拡充およびエンタープライズ企業への提供を通し、全社的なデジタル人材の育成、内製化に伴走し、企業のDXの実現に向けた取り組みを支援してまいります。

### 【3月新規公開予定コンテンツ】

■DXリテラシー: マインド・スタンス ～ケーススタディで学ぶ、DXマインドとは？～

■DXリテラシー: What (DXで活用されるデータ・技術) データ

■DXリテラシー: How (データ・技術の活用) 留意点

働き手一人ひとりのデジタルリテラシー向上、そして各自が変革に向けて行動できることを目指し、経済産業省は学びの指針となる「DXリテラシー標準」を策定しました。DXリテラシー標準は、「マインド・スタンス」「Why」「What」「How」の4項目から成り、必要なスキルや知識、マインドセットが体系的に示されています。今回は「マインド・スタンス」「What」「How」をピックアップし、それぞれの理解を深めるための基礎知識を紹介しています。

■定型業務を自動化しよう！概論編 RPA入門

「業務自動化を進めたいが、何から着手すべきかわからない」と悩むビジネスパーソンにおすすめです。RPAの基本、何ができるのか、成功事例などを学びます。自らの業務における課題を洗い出し、その課題をRPAによってどう自動化するかをイメージできるようになるところまでを目指します。

■商品の需要予測にもとづく在庫管理

商品の在庫管理・需要予測に関する基礎知識と勤所の解説とPythonプログラムによるシステム実装体験によ

る実践力育成を目指します。需要予測のような時系列データの把握は難しい部分も多いですが、勘所をとらえて業務活用を目指します。

#### ■Excel VBA基礎(前編)

#### ■Excel VBA基礎(後編)

VBA基礎レベルを習得することを目的としたコースです。前編・後編を受講することで、マクロの記録で日常業務を自動化できる、VBAでマクロを編集できる、またVBAの基本文法を理解してExcelの基本的なオブジェクト(部品)を操作できるようになることをゴールとしています。

#### ■定型業務を自動化しよう！実践編 Power Automate for desktop入門

Power Automate Desktopを活用して業務自動化するための入門コースです。アプリの導入方法、基本的な機能、自動化できる業務の実例などを学びます。ご自身の業務に関して自動化する工程を洗い出し、Power Automate Desktopによる自動化の実践までできるようになることを目指します。

#### ■DX News (2023年3月最終特別号)

最新のDX関連ニュースをピックアップし、主に各業界のアプリケーション事例を取り上げてビジネス視点から分かりやすく解説する「DX News」。最終号となる本号では、「GAFAで進む大規模解雇 その人材の受け皿はグリーンテックか」「画像生成AIと著作権、新興企業が目指すもの」などのほか、特集では中国軍人でもあり大学教授でもある龐宏亮氏の著書『中国軍人が観る「人に優しい」新たな戦争 知能化戦争』(五月書房新社)をもとに、中国が思い描く時次世代の戦争の在り方について解説します。

#### 【Aidemy Business概要】

Aidemy Businessは、これからの組織とビジネスパーソンに必須となる最先端領域の知識を学習できるデジタル人材育成プラットフォームです。自社の人材を最先端の知識を持つDX/GX人材へとリスクリソグ(職業能力の再開発)し、どのような環境にも対応できる強い組織作りを支援していきます。

#### 〈特徴〉

##### ・豊富な学習コンテンツ

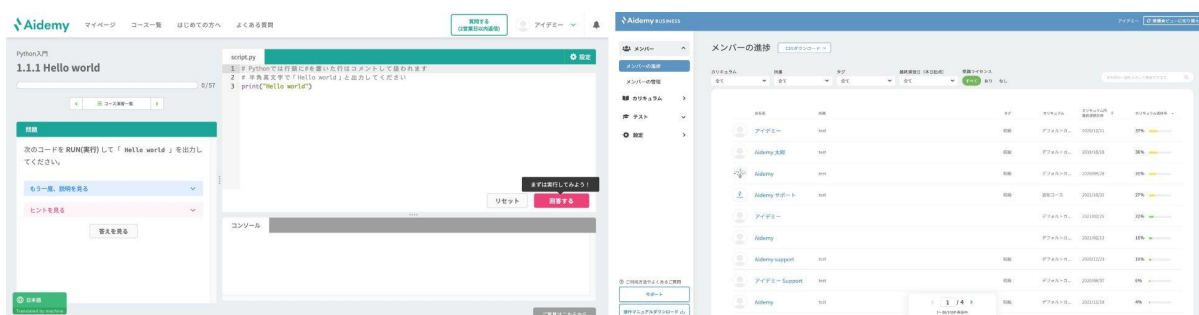
AI/DXなどの最先端テクノロジー、カーボンニュートラル、GX(グリーントランスフォーメーション)のための環境知識など、これからビジネスシーンで必要とされる200以上のコンテンツを豊富に取り揃えています。

## ・ポジション別カリキュラム

最大の学習効果を得るために、企画職向け、管理職向け、技術職向け、などポジションに合わせた最適な学習カリキュラムを用意しております。

## ・成果を最大化させるサポート体制

学習進捗の可視化、理解度チェックテスト、データ出力など、学習を促進するための機能が充実。また、専任のカスタマーサクセスが学習を強力にサポートします。



Aidemyの画面の例(左:コードを書きながら学習する問題, 右: Aidemy Business 利用者向けの管理画面)

## 【株式会社アイデミー概要】

株式会社アイデミーは「先端技術を、経済実装する。」を企業理念とする、2014年創業のベンチャー企業です。

2017年12月に「10秒で始めるAIプログラミング学習サービスAidemy Free」をリリースし、サービス開始約5年で登録ユーザー数20万人を突破した日本最大級のAI学習オンラインサービスとなりました。

現在では個人向けに留まらず法人向けにもサービスを展開しており、企業のAI/DXプロジェクト、GXプロジェクトの内製化に向け、教育研修から事業定義・試作品開発・実運用まで一気通貫でご支援しております。こうした事業を通じて、「先端技術が社会実装されるまでの壁」を取り除くべく尽力して参ります。

会社名:株式会社アイデミー

所在地:東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー6F

代表者:代表取締役執行役 社長CEO 石川聡彦

設立:2014年6月

URL: <https://aidemy.co.jp/>

株主: 経営陣, 東京大学エッジキャピタルパートナーズ(UTEC), Skyland Ventures, 大和企業投資, ダイキン工業, テクノプロ, 古河電気工業, 日本ゼオン, 東京大学協創プラットフォーム開発(東大IPC), 千葉道場ファンド, KDDI地方創生ファンド, 個人投資家

事業内容: AIを中心とするDX人材・GX人材育成のためのオンラインDXラーニングプラットフォーム「Aidemy Business」の提供、プロジェクトの企画から運用までを一気通貫で支援するDXプロジェクト伴走支援サービス「Modeloy」の提供

<提供サービスURL>

Aidemy Free (<https://aidemy.net/>)

Aidemy Premium (<https://aidemy.net/grit/premium/>)

Aidemy Business (<https://business.aidemy.net/>)

Aidemy Practice (<https://business.aidemy.net/practice/>)

Modeloy (<https://www.modeloy.ai/>)



**【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】**

株式会社アイデミー

広報担当 濱谷(はまたに)

TEL: 03-6868-0998 (平日 10:00-18:00)

Email: [pr@aidemy.co.jp](mailto:pr@aidemy.co.jp)